

議員が 注目の 議案！

25 議案を審議

24 議案を可決

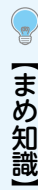
1 議案継続審査（↓12・13 P 参照）



詳しくは
議会 HP へ

高木橋架け替え工事延長で

町道大沢川通り線高木橋架け替え工事の R7 年度工事の工期延長に伴い、橋に併設している水道管約 80 m の工事契約が来年度に渡ることから「債務負担行為」を行うものです。



【まめ知識】

「債務負担行為」ってなに？

自治体などが「来年以降に払うお金（債務）」について、今年の予算で「支払う義務があるよ」とあらかじめ約束・承認しておく手続きです。単年度で終わらない大きな工事や業務（例 3 年かかる建物の建設）を、今のうちから複数年度で計画的に進めるために必要で、議会の承認が必要。これは将来の財政負担を透明化し、住民のチェックを受けるための大切なルールです。

物価高騰対応重点支援

地方創生臨時交付金

本交付金は、全国規模では約 2 兆円にのぼる大型の交付金です。

物価高騰が長期化する中、自治体が地域の実情に応じた柔軟な支援策を迅速に実施できる点が特徴となっています。

下諏訪町においては、この交付金を活用し、いち早く上下水道基本料金の減免を実施します。基本料金を軽減することは、世帯の負担を幅広く、かつ公平に緩和する効果が期待されます。

こども誰でも通園制度を

実施するための条例を制定

国が R8 年度から実施することも誰でも通園制度は、生後 6 か月から満 3

歳未満で保育所などに通っていない子どもを対象に、就労の有無を問わず月 10 時間までの枠内・1 時間単位で保育所等を利用できる制度です。実施のために、国の設備・運営基準に基づき、2 つの条例を新たに制定するものです。

保育士不足の中、子どもの安全や保育の質が保てない。新たな制度の導入より先に一時保育の拡充や育休退園を廃止すべきで反対。孤立防止や育児負担が軽減され大きな安心になる。利用しやすい制度設計を求めて賛成との討論があり、賛成多数で可決しました。



高齢者祝金条例を改正

長寿を祝福するために祝金を贈る事業については、対象をこれまでの「満 88 歳、満 99 歳、満 100 歳以上」から「満 88 歳と満 100 歳」に見直し、祝金の額は一律 8 千円のところを、満 88 歳へは 5 千円、満 100 歳へは 1 万円に改定します。

年金は実質的に減り続け、止まらない物価高騰の中、敬意を表すべき高齢者の祝金を減らすことには反対。高齢

化はさらに進み、制度の継続が求められている。高齢者施策を安定させていくために見直しが必要であり賛成との討論があり、賛成多数で可決しました。

高浜健康温泉センター

「ゆたん歩」の使用料を値上げ

光熱水費の高騰や、開館から 10 年以上が経過し設備等の修繕が必要となり、施設の安定的な運営のために、利用者に負担いただくものです。1 回券は大人 400 円から 500 円に、子ども子育て応援カード・高齢者応援カード・障害者手帳等の提示者は 200 円から 250 円になり、12 枚綴りの回数券も値上げします。

町民の健康増進を目的に作られた施設であり、物価高騰の中、25%もの値上げはすべきではないので反対。光熱水費の高騰や修繕が必要な状況であり、ある程度の受益者負担をお願いするしかないため賛成との討論があり、賛成多数で可決しました。



多くの方が利用する「ゆたん歩」